

薬剤部通信 1



今回は基本的なところで薬の飲み方についてお話ししたいと思います。

病院や薬局でお薬をもらうとき多めのお水かぬるま湯で服用して下さいと説明を受けた事があると思います。まず多めのお水かぬるま湯でというのはコップ1杯程度の量が目安です。実際にはもっと少量のお水でも服用できるとは思いますが少ないお水で飲むと薬が溶けにくく、吸収が悪くなることで薬の効き目を十分に得られないだけでなく食道などにくっつくことで潰瘍ができてしまうこともあります。ですから十分に薬が溶けるだけの量のお水が必要なわけです。

またよく患者様からお茶やジュースで飲んでもいい？と質問を受けます。これに対してはお水かぬるま湯でという返答をさせて頂いております。製薬メーカーさんも炭酸飲料やジュース、お茶等で飲んだ時の試験なんてほとんど行っていませんので正直どの程度有効かは分かりません。またこれは有名な話ですが、ある種の高血圧の治療薬とグレープフルーツジュースを一緒に飲むと降圧効果が増大するため危険な状態に陥ることも考えられます。このような飲み合わせの問題があるもの、また別の組み合わせでも吸収率が下がることも考えられますのでやはりお水かぬるま湯での服用をお勧めします・・・がどうしてもお水やぬるま湯がない状況（あまり想像できませんが）でお茶しかないという場合は飲まないより飲んだ方がいいと思います。お茶なら…です。鉄剤とお茶はダメと聞かれたことがあるかもしれませんが現在病院で処方される鉄剤であればお茶で飲んでも問題ありません。ただしアルコール等は論外ですしグレープフルーツジュースはたくさん相互作用があるので注意が必要です。